

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和２年度第１回）について

本年度の諮問事項は次のとおりである。

諮問事項 1

全日制単位制高等学校における入学者選抜について

○ 諮問理由

本県では、県立高等学校教育推進基本計画（平成２７年３月）において多様な生徒のニーズに応える学校づくりを掲げており、これを踏まえて令和２年２月に策定した県立高等学校教育推進実施計画（第２期）において県立守山高等学校及び県立幸田高等学校を令和４年度に全日制単位制高等学校に改編することとした。

全日制単位制高等学校では、学年による教育課程の区分がないことから、生徒は将来の進路や興味・関心に応じて科目を選択し、自分のペースで学習することができる。このような個別最適化された学びの実現によって特定分野に特異な才能をもつ生徒などの学習意欲を喚起し、得意分野の力を伸ばすことができる。

こうした特長を踏まえ、幅広い学習ニーズに応えることができるよう、全日制単位制高等学校の入学者選抜方法について検討する必要がある。

全日制単位制高等学校における入学者選抜については、平成３０年度の本協議会議に諮問したが、その時点では上記実施計画は策定途上であり、全日制単位制高等学校に改編する学校がいまだ具体化されていなかったため、協議は論点整理にとどまった。

このたび上記実施計画の策定を終えて、改編する高等学校等が定まったことから、改めて諮問することとした。

諮問事項 2

調査書の記載事項について

○ 諮問理由

令和3年度から中学校において新しい学習指導要領が全面的に実施される運びであり、学習評価及び指導要録の改善に関しては、文部科学省から「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月）が示されている。

これを踏まえて、令和4年度以降の入学者選抜で使用する調査書の記載事項を検討する必要がある。